

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 1 年 8 月 5 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100488		
法人名	株式会社 リアン		
事業所名	グループホームでしお		
所在地	広島市南区出汐1丁目4番16号 (電話) (082) 250-1620		
自己評価作成日	令和1年7月14日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100488-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100488-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和1年7月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>『愛・笑顔・元気・安心』という施設目標・スローガンを掲げ利用者様に、一人一人が輝き、生きがいを持って【普通の生活】を送れよう支援を行えるよう、個々の思いや家族様の思いを大切に季節ごとの行事や日々のレクリエーションを行っています。地域の中においても夏祭り・亥の子祭りに参加させてもらいながら絆を深めています。日常の支援においても、入居者様に寄り添い、施設であっても「我が家」であるよう一人一人の居場所を大切に、安心して生活できるよう支援しています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>近くには国道2号線、直ぐ側に大学病院や商業施設が立ち並び、医学生達が行き交う街並みにある。運営母体は、広島県下に、19店舗を持つ保険調剤薬局を主体とするグループ企業。そのネットワークから「介護と医療連携」強化を容易にしている。4階建ての2, 3階に2ユニットのグループホームが有り、その上には小規模多機能型ホームが有る。今年春に管理者が人事移動で就任し、新体制でスタートした。まず法人理念を咀嚼し、話し合い、新に目標を定め実践に繋げる努力がある。管理者は病院勤務を始め、様々な経験を活かしながらサービスの向上を目指している。更には職員個々の状況を把握し、素直な職員に恵まれ直ぐに行動に移せる人が多く、信頼関係（和と向上心）が深く共に支援する体制を整えている。運営法人に於いても、職員を育てる体制が整っており、全職員が一丸となって、より良いサービスの向上を目指し努力している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を事業所理念として、朝礼時に唱和を行っています。また、理念を基に施設目標を作り、入居者様・家族様へのサービス向上に努めています。地域に対しても職員に地域密着の施設であることが強く認識でき地域の一員であることを自覚するために施設目標におりこんでいます。	法人理念を基に、管理者と主任スタッフが話し合いを行い、当事業所独自の目標を定め「入居者一人ひとりが輝き、元気・笑顔・安心」で普通の生活が送れ、更に地域交流を大切にしながら日々実践に繋げるよう努力している。スタッフは朝夕この目標を唱和し、共有しながらより良いサービスの向上を目指している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入れていただき、町内の主な行事(夏祭り・亥の子祭り)に参加させていただいたり、南区民文化センター内にある、図書館の会員登録を行い紙芝居などを借りに行き、区民センターなどの催し物などで入居者様と参加できる催し物の情報を収集を行っています。	町内会に加入し、地域資源を活用しながら催し物が有れば参加する等している。ボランティア(紙芝居)も来所して貰い、地域と途切れない交流を支援している。今後の計画案として、スライリー(カーブ球団)に来て貰い、地元住民もまき込んだイベントも検討する等、積極的な支援に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域に新しく開設された、認知症カフェ(花奈カフェ)に協力させていただいたり、運営推進会議に参加していただいている民生委員の方等に認知症の方への支援方法などができる旨を伝え体制は整えています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族様・入居者様・小規模多機能職員・グループホーム職員・地域民生委員・他事業所グループホームの管理者・職員に出席していただき、入居者状況・事故報告・ヒヤリハット・行事等の報告を行い、それに基づき意見交換を多方向からの意見を頂戴して、運営に反映をして、サービス向上につなげています。	会議の核となる入居者と家族の出席も多く、地域関係者や地域包括センター(市町)など多方面の出席者が特徴である。入居者(100歳・男性)の入居者の元気な発言もあり、入居者中心のサービス向上への熱気ある討議が交わされている。	運営推進会議に欠席の家族等には、議事録および業務改善委員会等の活動状況を文書化して送付され、情報共有の強化が望まれる。併せて、議事録等の作成においても、「読み手」を意識した記述と構成に工夫が求められる。
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議などの案内・報告を行い、運営上不明な点・疑問点などを問い合わせを行っています。また報告しなければならぬような事故が発生した場合速やかに報告させていただいています。	市町との連絡は常に報告等を行い、途切れない関係づくりに取り組んでいる。今後は市の施策事業である「市政出前講座」を活用する事や、管理者が認知症アドバイザーの資格を有し、市町から要請があれば出掛けられる準備は整っており、常に協力関係を築く取り組みに努めている。	

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を3か月に1度必ず実施をしていきながら正しいケアを職員が自覚をして実践できるよう『不適切なケア』『身体拘束』『虐待』がおこなわれていないかをチェックシートを作成をして実践しています。これを基に管理者を中心に個々に面談などを実施しています。	事業所独自のチェックシートで、身体拘束14項目・虐待13項目を職員一人ひとりが書き出し、成果ではなく取り組みや過程を確認しながら実践している。職員は言葉の拘束(スピーチロック)を始め身体拘束しないケアを理解し、予防に心掛け実践に繋げる努力が感じられる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	主として内部研修を実施しています。外部研修への参加も計画しています。業務中入居者様に対して、スピーチロックをはじめ、不適切なケアから始まる虐待を防止するため、チェックシートなどを利用して職員の意識の向上を図っています。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者、介護支援専門員を中心とし、研修などを行い権利擁護の知識を深めています。また、実際に入居者様の中に『かけはし』をご利用の方もおられたり、成年後見人の方もおられるので、その方々が来設されたりしているため、日常の業務の中で理解をする機会があります。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項・運営規定を理解していただけるよう説明させていただいています。その時点で質問があれば納得されるまで、説明させていただきそのうえで契約していただいています。解約の時は面談を重ね十分な説明を行っています。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に家族様に出席していただき、率直な意見を聞かせていただき、問題点・要望があれば、早期解決を行い、報告させていただいています。また、面会に来られた時に家族様と、コミュニケーションを図り意見を聞かせていただいたり、カンファレンス時にも意見・要望を聞かせていただき運営、日常のケアに反映させていただいています。遠方の家族様は、手紙・FAXで近況報告をさせていただいています。	運営推進会議に出席する家族には直接意見を聞く事が出来る。また来所される家族にも、直接意見を聞く機会を設けている。来所が困難な家族には、毎月の便りや手紙等を送付し、意見を聞く体制はあるが運営に関する意見は殆どない。	

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	業務改善委員会・リーダー会議を発足して定期的な会議を開催し、現場の日々の業務の改善に対する提案や意見聴取を行い反映させています。	事業所は、働きやすい環境を作る為の体制づくり(資格支援制度・外部研修の参加等)を行っている。職員からの意見や要望があれば、例えば3階の事務室を改善し職員の休憩室として使用しONとOFFの切り替えが出来、スムーズに次の支援に取り組める体制が整っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員に対して、個人面談を定期的に行い、スキル目標・一年後の目標・三年後の目標を聞き、業務に対する考え・意見を聞き取りを行い職場環境の整備を行い、給与査定・賞与査定の参考にしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人に実務者研修・介護福祉士他の資格主希望者に資格支援制度があり、スキルアップ向上を応援しています。また、外部の研修にも積極的に参加を促し、研修費の補助も行っています。研修日は勤務表上、『研修』とし出勤扱いにし、資格・研修が取得しやすい環境を作っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同法人内の小規模多機能施設や、同法人グループのグループホームと、行事・研修・会議を定期的に行い、交流を図る機会を作っています。他施設には、営業活動を行いながら、交流を図り、運営推進会議などに参加させていただけるように話をさせていただいています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前に、ご自宅・施設に訪問を本人様・家族様と1回以上の面談を行い、お話をさせていただきながら不安なこと・施設で生活される中でのご要望・職員がお手伝いさせていただける事等聞かせていただきながら、顔を覚えていただき関係づくりをさせていただき		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりにも努めている。	契約前の面談をはじめ、カンファレンス、契約時に話をお聞きし入居者様の意向も踏まえケアプランを作成を行い迅速に対応できるようスタッフにも情報の共有を行い、支援をし連絡を密に取りながら関係構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	施設見学をしていただき、家族様から、入居者様の状況を詳しく聞き取りを行い、また、担当ケアマネージャー様からも聞き取りを行いケアプランを作成してサービスを開始しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様の尊厳を守りながら、家族の一員であること認識をしてゆっくりと『普通の生活』をしていただけるように、朝・昼・夕の食事を入居者様と食べさせていただき、関係を構築しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	施設目標の中に『入居者様を家族様とともに支援いたします。』という目標を掲げ、面会に来られた家族様に状況を報告を行う等家族様との会話を大切に、遠方の家族様には電話・FAXなどで状況をお知らせを行い家族様の要望を聞きながら共に入居者様を支えていけるよう関係を構築しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族様の面会・、親戚の方の面会、家族様との外出・外泊を大切にさせていただき、家族様に働きかけを行えるように支援をしています。	面会時間はとくに設けていない。入居者の中には家族と共に、県外に法事や結婚式に出席するため外泊したりしている。また家族や知人との繋がりが少ない入居者には、職員は毎日の生活を通して、本人が希望することを把握し、買い物等外出の機会を設けるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	2階ユニット・3階ユニットでレクリエーション・行事・外出支援など交流ができるようにし、ユニット内においても座る席を工夫して気軽に会話ができるように考慮しています。食器拭き・洗濯物を畳んでいただきながら、会話していただけるように支援も行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用終了後も様子などを電話でお伺いしたりして、相談が気軽にさせていただけるようにしています。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の話を傾聴し、家族様が面会に来られた時に家族様に普段の様子などを、現場職員から報告させていただいたり、カンファレンスの時に、本人様の意向を聞き、本人様の意向に沿えるようにサービスの提供を行っています。また、担当者会議などで、普段の会話の中から本人様の意向の情報収集に努めています。	入居者の意向を把握するため、家族から話を聞き取り記録して、職員で情報を共有し日々の暮らしに反映出来るよう取り組んでいる。希望の把握が困難な場合は、職員は話し合いを行い本人本位に検討しながら、入居者のニーズに合ったサービスに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活の様子を、本人様・家族様・担当ケアマネ様より情報収集を行っています。他施設をご利用だった場合は、こちらからその施設に出向き担当者様からの話も聞かせていただいています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	希望される入居者様には訪問マッサージによる診療を受けていただき、月1度状況の報告を聞きADLの把握に努めたり、レクリエーション・体操・家事のお手伝いを通じ入居者様の身体状況を把握させていただいたりしながら現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族様参加のカンファレンス・担当者会議での意見・課題などをケアプランに反映をして支援を行っています。看護職員と現場職員の間で連携が取れるように医療連携ノートを作成してケアプランに反映できるようにしています。</p>	<p>年2回、モニタリングや担当者会議で本人及び家族の意向の基、ケアマネジャーが計画を立てている。当事業所は「医療連携ノート」を作成し、介護と看護間の連携が素早くスムーズな手当が出来る様、体制が構築されており、計画を立てる際の参考となり、より良い介護計画の作成に反映されている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>朝・夕の申し送りが入居者様の細かな変化・気づきを職員間で共有を行い日々の支援しています。各ユニット内で申し送りノートを活用し情報の共有をされており、ケアマネ・看護師に情報の漏れがないようにしています。ケアプランへの反映できるようにしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個別支援として、コーヒーを飲みにお連れしたり、買い物にお連れしたり、家族様に外食・外出に行っていただいたりしています。希望に応じて訪問マッサージを利用していただいています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>区民文化センター内にある、図書館を利用したり、近所にある喫茶店を利用したりしています。郵便局・スーパー・公園・神社などに地域資源を活用できるように支援させていただいています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ホームの主治医の週1回の往診をはじめ、入居前からのかかりつけ医を希望された場合は、家族様の協力を得ながら受診していただいたり、必要に応じて往診もしていただいています。そのほか隔週毎の歯科の往診、週1回の訪問看護による入居者様の健康管理に努めています。事業所内にAEDを設置しており、今後職員全員が使用できるように勉強会を重ねていく予定です。</p>	<p>定期的に事業所の協力医（内科・歯科）の往診があり、希望があれば以前からのかかりつけ医や他科受診も行っている。有事の際は総合病院への受入れ体制もある。また事業所内に看護師が常駐しており、訪問看護と共に24時間体制で支援が出来、職員は研修や実習（AED）を積み重ね更なる支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	介護職員と看護職員の連携を図るため医療連携ノート・申し送りノートを活用を行いながら、往診時に医師への連絡の漏れがないように工夫を行ったり、訪問看護との連携を図っています。24時間看護職員との連絡がつくような体制をとり、現場職員が支持を受けて対応でき利用にしています。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	施設の情報提供書・主治医から紹介状を用意して入院していただき、入院先の医療連携室の相談員との連絡を取り合っています。入院中家族様と連絡を取り合い症状をお伺いしたり、管理者・ケアマネが入院中に訪問し、様子観察したり、本人様とのコミュニケーションを図っています。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時、『重度化した場合における(看取り)対応に係る指針』『「グループホームでしお」ご利用に際しての事前指定書(終末期)』の書面を通して、ご家族様より重度化した場合・看取りに対しての考え意向を話し合いを行います。体調が悪くなられ重度化された場合、かかりつけの医師・ケアマネ・管理者・家族様・看護師とカンファレンスを行いその都度ご家族様の意向を聞き、できるだけ意向に沿えるようまた、グループホームでできる看取りを理解していただいたうえで支援させていただきます。	入所時に家族等に書面(指定書)にて説明を行い同意書を得ている。管理者は看取りの経験があり、重度化した場合改めて家族と話し合い、方針を共有しながら支援する体制はあるが、計画的な看取りはまだ行っていない。今後職員は看護師と共に、事例を参考に研修等を通して支援出来るよう取り組んでいく。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	AEDの研修、緊急時の対応の研修をはじめ、緊急時・事故発生時の連絡網を作成し、各ユニットに掲示を行っています。救命救急の研修も受講していただいています。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署立会いのもと、日中・夜勤帯を想定をして、防火訓練を年2回行い避難訓練を行って、通報方法も職員に周知しています。緊急時の連絡網を作成をしています。	年2回の防火訓練は基より、ハザードマップで地理的環境を把握し、風水害への対応も視野に入れ、例えば当事業所が一次避難場所として、地域に提供するなど協力体制は整えている。備蓄も水やオムツ類等確保されており、今後は、食料品の備蓄も整え、地域住民にも提供出来る様、取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	介護保険法の「尊厳を守る」「自己決定」「自己選択」を職員一人一人に周知していきけるよう、施設目標に織り込み、トイレ誘導時、就寝時等個人のプライバシーが守られるように支援しています。またスピーチロックが行われないう、身体拘束委員会などで事例を取り上げ、職員に周知しています。	職員は平素より接遇のチェックを行い、繰り返す事により改善点が見えて来る。事業所の目標の中にも掲げている「入居者の人生を尊重します」やスピーチロックにも当たる「でも・だって・だから」を無くす等、職員同士が注意しながら、人格を損なわない対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様から話が傾聴できるよう施設内の雰囲気作りに気を配り、入居者様との会話を大切に、入居者様の思いを汲取り、自己決定ができるように支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の介護度・レベルに合わせ個別レクレーション・個別支援を行い、また職員の勤務も余裕のあるシフトにして、入居者様主体の生活ができるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に、季節に合った洋服を用意していただき、好みの洋服を着ていただいています。2か月に一度訪問美容師に髪をカットしていただいたり、希望に応じて、カラーリングもできるようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理済の食材を利用しているため、季節に応じて、カレーパーティーを行ったり、おやつに、手作りのケーキ・ゼンざい・ゼリー等作り、目でも楽しんでいただけるよう形・色合いなども工夫して提供をしています。食器拭き・お盆拭きなども職員と談笑しながらしていただいています。	基本的には、配食を利用しているが、毎日のおやつは職員の手作りで、入居者が手伝う事もある。食事中はテレビを消し、食事環境への配慮が伺える。月に1度外に出るの飲食は、入居者の楽しみにも繋がっている。出掛ける事が困難な場合は、同じような物を用意する等、工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項 目 ( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士が立てた献立を提供しています。食事量は、入居者様に適した量を提供し、水分摂取量は、記録により管理を行い確保しています。入居者様の好みの水分（お茶・紅茶・コーヒー・グリーンティー・ポカリスエット）などを用意して飽きないように摂取していただく工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	日常は、食事の度に口腔ケアをお一人お一人行い、必要に応じては介助も行っています。また、歯科受診の必要な入居者様は、歯科医に往診に来ていただき、診ていただき、適切な口腔ケアの指導を職員が受け支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を活用して、個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っています。日中は、リハビリパンツ・パット等を活用していますが、夜間帯はポータブルトイレも使用しています。歩行可能な方の下肢筋力の低下を防ぐため、体操の中に足ふみなど取入れたり、回廊型の廊下を利用して生活リハビリも行っています。	職員は、入居者の排泄パターンを把握し状態を確認して、水分量（目標1000ml）や食事の工夫を行い、腸の活動を活発にする等、改善に繋げるよう取り組んでいる。又トイレ環境にも配慮し、アームレストを利用して潜在能力を引き出し、自立に向けた排泄支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便チェック表を活用して個々の排便の周期を確認を行い、水分を摂取していただき自然に排便を促せるようにしています。薬などの必要な時には、医師・看護師に支持を仰いでいます。体操を日課の一つにして、身体を動かして予防にも努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	清潔保持のため、週に2回～3回入浴できるように支援しています。体調不良の方は看護師の指示のもと清拭を行っています。手浴・足浴なども実施もしています。ゆず湯なども楽しんでいただき、入浴が楽しみにできるような工夫もしています。	職員は入浴を楽しんで貰うために、入居者一人ひとりのその時の状態等を考慮し、週2～3回の入浴を実施している。入浴で気を付けている事は、皮膚のトラブルがある入居者には、泡シャンプーで手で洗う等配慮し、職員は常に気配りしながら入浴の支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	基本就寝時間は決めていなく、眠い方 から就寝介助をしています。夕食後 は、野球観戦・ドラマ・歌番組・バラ エティー番組等その時々に合わせて楽 しんでいただきます。昼間は、体調に 合わせて休んでいただいたり、休みたい 希望があれば、夜間の睡眠に支障の ない程度の昼寝をしていただしてい ます。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。	服薬管理表を用いて、服薬漏れがない ようにしています。また、誤薬が無い よう、服薬を行うスタッフ、それを確 認するスタッフと声に出し合い二重確 認をしています。入居者様の前にて、 声を出し、日にち・名前・何食後な ど確認をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や力 を活かした役割、嗜好品、楽しみご と、気分転換等の支援をしている。	家族様に協力していただき、嗜好品を 持参していただき提供しています。近 所にコーヒーなどを飲みに行くなどの 外出支援をはじめ、買い物にも同行し ていただいたりしています。また近所 の郵便局などにも同行をしていただき ながら、散歩も楽しんでいただける機 会も作っています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援してい る。	家族様との外出(買い物・食事)外泊 もしていただいています。地域の亥の 子祭り・夏祭りなどにも参加してい ただき、お正月には地元の神社に参拝に 行くなどの外出支援しています。	日常的に散歩が出来る環境が少なく、 家族の協力の下、買い物や食事に出掛 けている。外出が困難な場合、回廊型 の廊下を窓を開けて、外気を楽しみな がら室内散歩を楽しんでいる。時には 玄関前に出て音や光を楽しむ事も有 る。職員は少しでも多く外出支援が 出来る様、工夫しながら取り組んで いる。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひとりの 希望や力に応じて、お金を所持し たり使えるように支援している。	認知症の入居者様ですので、個人で持た れることで、紛失などの事故を防ぐため、家 族様と相談をして、紛失しても差し支えの ない金額を持っていただき、日用品・外出 支援に必要なお金は、事務所で最低限の金 額を預かり、個々に必要なもの、外出支 援の時に利用者様にお渡しして買い物を楽 しんでいただいています。その収支は、毎月 家族様に報告させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目( 2階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話・手紙は入居者・家族様の意向を大切にしています。選挙なども本人の意志を尊重して意向を聞いています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の飾り物や入居者様の写真を掲示したりして、入居者さまが、楽しく生活できるように工夫しています。七夕などには、笹飾りををしたり、季節ごとに飾りを変えています。湿度・温度の管理も入居者様に合わせて行っています。夏は、エアコンだけに頼らず、扇風機なども利用しています。	玄関を入ると高い天井と、白色のエントランスが特徴的で、らせん状になった広めの階段を上がると、2,3階（2ユニット）共、窓から光が降り注いでいる。リビングは、季節の作品や写真、カーブ関連の張紙を飾ったりしている。リビングは常に人の気配が感じられ、居心地よく過ごせる様支援している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルの席位置には、気の合う人が座り、談笑ができるように配慮しています。また、ソファなども利用して、日中思い思いの場所で過ごせるよう工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	仏壇なども、居室に持ってきていただいたり、家族様の写真や、入居前なじみのもののお気に入りの品々を居室において安心して、落ち着かれ居心地の良いスペースを作っています。居室前には表札ではなく、フルーツや花の名前のプレートをかけわかりやすく識別する工夫をしています。	居室は建物の特徴を活かし、其々の部屋の形が違い趣がある。居室はベッド・エアコン・小振りのクローゼットが備え付けてある。入り口横には花や果物の絵模様が個々に掛けてあり、間違わない工夫がされている。室内は必要なものが、整理整頓され居心地良さが感じる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ユニット内にトイレ・洗面所・お風呂があり、わかりやすく、移動しやすい動線になっており、台所もユニット内にあり、食事を作る音や、においを感じられるようになっています。		

V アウトカム項目( 2階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人理念を事業所理念として、朝礼時に唱和を行っています。また、理念を基に施設目標を作り、入居者様・家族様へのサービス向上に努めています。地域に対しても職員に地域密着の施設であることが強く認識でき地域の一員であることを自覚するために施設目標におりこんでいます。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入れていただき、町内の主な行事（夏祭り・亥の子祭り）に参加させていただいたり、南区民文化センター内にある、図書館の会員登録を行い紙芝居などを借りに行き、区民センターなどの催し物などで入居者様と参加できる催し物の情報を収集を行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域に新しく開設された、認知症カフェ（花奈カフェ）に協力させていただいたり、運営推進会議に参加していただいている民生委員の方等に認知症の方への支援方法などができる旨を伝え体制は整えています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	家族様・入居者様・小規模多機能職員・グループホーム職員・地域民生委員・他事業所グループホームの管理者・職員に出席していただき、入居者状況・事故報告・ヒヤリハット・行事等の報告を行い、それに基づき意見交換を多方向からの意見を頂戴して、運営に反映をして、サービス向上につなげています。		
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議などの案内・報告を行い、運営上不明な点・疑問点などを問い合わせを行っています。また報告しなければならぬような事故が発生した場合速やかに報告させていただいています。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を3か月に1度必ず実施をしていきながら正しいケアを職員が自覚をして実践できるよう『不適切なケア』『身体拘束』『虐待』がおこなわれていないかをチェックシートを作成をして実践している。これを基に管理者を中心に個々に面談などを実施しています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	主として内部研修を実施しています。外部研修への参加も計画しています。業務中入居者様に対して、スピーチロックをはじめ、不適切なケアから始まる虐待を防止するため、チェックシートなどを利用して職員の意識の向上を図っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者、介護支援専門員を中心とし、研修などを行い権利擁護の知識を深めています。また、実際に入居者様の中に『かけはし』をご利用の方もおられたり、成年後見人の方もおられるので、その方々が来設されたりしているので、日常の業務の中で理解をする機会があります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項・運営規定を理解していただけるよう説明させていただいています。その時点で質問があれば納得されるまで、説明させていただきそのうえで契約していただいています。解約の時は面談を重ね十分な説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議に家族様に出席していただき、率直な意見を聞かせていただき、問題点・要望があれば、早期解決を行い、報告させていただいています。また、面会に来られた時に家族様と、コミュニケーションを図り意見を聞かせていただいたり、カンファレンス時にも意見・要望を聞かせていただき運営、日常のケアに反映させていただいています。遠方の家族様は、手紙・FAXで近況報告をさせていただいています。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	業務改善委員会・リーダー会議を発足して定期的な会議を開催し、現場の日々の業務の改善に対する提案や意見聴取を行い反映させています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員に対して、個人面談を定期的に行い、スキル目標・一年後の目標・三年後の目標を聞き、業務に対する考え・意見を聞き取りを行い職場環境の整備を行い、給与査定・賞与査定の参考にしています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人に実務者研修・介護福祉士他の資格主希望者に資格支援制度があり、スキルアップ向上を応援しています。また、外部の研修にも積極的に参加を促し、研修費の補助も行っています。研修日は勤務表上、『研修』とし出勤扱いにし、資格・研修が取得しやすい環境を作っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	同法人内の小規模多機能施設や、同法人グループのグループホームと、行事・研修・会議を定期的に行い、交流を図る機会を作っています。他施設には、営業活動を行いながら、交流を図り、運営推進会議などに参加させていただけるように話をさせていただいています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	契約前に、ご自宅・施設に訪問を本人様・家族様と1回以上の面談を行い、お話をさせていただきながら不安なこと・施設で生活される中でのご希望・職員がお手伝いさせていただける事等聞かせていただきながら、顔を覚えていただき関係づくりをさせていただき		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	契約前の面談をはじめ、カンファレンス、契約時に話をお聞きし入居者様の意向も踏まえケアプランを作成を行い迅速に対応できるようスタッフにも情報の共有を行い、支援をし連絡を密に取りながら関係構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	施設見学をしていただき、家族様から、入居者様の状況を詳しく聞き取りを行い、また、担当ケアマネージャー様からも聞き取りを行いケアプランを作成してサービスを開始しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様の尊厳を守りながら、家族の一員であること認識をしてゆっくりと『普通の生活』をしていただけるように、朝・昼・夕の食事を入居者様と食べさせていただき、関係を構築しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	施設目標の中に『入居者様を家族様とともに支援いたします。』という目標を掲げ、面会に来られた家族様に状況を報告を行う等家族様との会話を大切に、遠方の家族様には電話・FAXなどで状況をお知らせを行い家族様の要望を聞きながら共に入居者様を支えていけるよう関係を構築しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族様の面会・、親戚の方の面会、家族様との外出・外泊を大切にさせていただき、家族様に働きかけを行えるように支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	2階ユニット・3階ユニットでレクリエーション・行事・外出支援など交流ができるようにし、ユニット内においても座る席を工夫して気軽に会話ができるように考慮しています。食器拭き・洗濯物を畳んでいただきながら、会話していただけるように支援も行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用終了後も様子などを電話でお伺いしたりして、相談が気軽にさせていただけるようにしています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の話を傾聴し、家族様が面会に来られた時に家族様に普段の様子などを、現場職員から報告させていただいたり、カンファレンスの時に、本人様の意向を聞き、本人様の意向に沿えるようにサービスの提供を行っています。また、担当者会議などで、普段の会話の中から本人様の意向の情報収集に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前の生活の様子を、本人様・家族様・担当ケアマネ様より情報収集を行っています。他施設をご利用だった場合は、こちらからその施設に出向き担当者様からの話も聞かせていただいています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	希望される入居者様には訪問マッサージによる診療を受けていただき、月1度状況の報告を聞きADLの把握に努めたり、レクリエーション・体操・家事のお手伝いを通じ入居者様の身体状況を把握させていただいたりしながら現状の把握に努めています。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>家族様参加のカンファレンス・担当者会議での意見・課題などをケアプランに反映をして支援を行っています。看護職員と現場職員の間で連携が取れるように医療連携ノートを作成してケアプランに反映できるようにしています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>朝・夕の申し送りで入居者様の細かな変化・気づきを職員間で共有を行い日々の支援しています。各ユニット内で申し送りノートを活用し情報の共有をしており、ケアマネ・看護師に情報の漏れがないようにしています。ケアプランへの反映できるようにしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>個別支援として、コーヒーを飲みにお連れしたり、買い物にお連れしたり、家族様に外食・外出に行っていただいたりしています。希望に応じて訪問マッサージを利用いただいています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>区民文化センター内にある、図書館を利用したり、近所にある喫茶店を利用したりしています。郵便局・スーパー・公園・神社などに地域資源を活用できるように支援させていただいています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ホームの主治医の週1回の往診をはじめ、入居前からのかかりつけ医を希望された場合は、家族様の協力を得ながら受診していただいたり、必要に応じて往診もいただいています。そのほか隔週毎の歯科の往診、週1回の訪問看護による入居者様の健康管理に努めています。事業所内にAEDを設置しており、今後職員全員が使用できるように勉強会を重ねていく予定です。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>介護職員と看護職員の連携を図るため医療連携ノート・申し送りノートを活用を行いながら、往診時に医師への連絡の漏れがないように工夫を行ったり、訪問看護との連携を図っています。24時間看護職員との連絡がつくような体制をとり、現場職員が支持を受けて対応でき利用にしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>施設の情報提供書・主治医から紹介状を用意して入院していただき、入院先の医療連携室の相談員との連絡を取り合っています。入院中家族様と連絡を取り合い症状をお伺いしたり、管理者・ケアマネが入院中に訪問し、様子観察したり、本人様とのコミュニケーションを図っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>契約時、『重度化した場合における(看取り)対応に係る指針』『「グループホームでしお」ご利用に際しての事前指定書(終末期)』の書面を通して、ご家族様より重度化した場合・看取りに対しての考え意向を話し合いを行います。体調が悪くなられ重度化された場合、かかりつけの医師・ケアマネ・管理者・家族様・看護師とカンファレンスを行いその都度ご家族様の意向を聞き、できるだけ意向に沿えるようまた、グループホームでできる看取りを理解していただいたうえで支援させていただきます。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>AEDの研修、緊急時の対応の研修をはじめ、緊急時・事故発生時の連絡網を作成し、各ユニットに掲示を行っています。救命救急の研修も受講いただいています。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防署立会いのもと、日中・夜勤帯を想定をして、防火訓練を年2回行い避難訓練を行って、通報方法も職員に周知しています。緊急時の連絡網を作成をしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	介護保険法の「尊厳を守る」「自己決定」「自己選択」を職員一人一人に周知していけるよう、施設目標に織り込み、トイレ誘導時、就寝時等個人のプライバシーが守られるように支援しています。またスピーチロックが行われないよう、身体拘束委員会などで事例を取り上げ、職員に周知しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様から話が傾聴できるよう施設内の雰囲気作りに気を配り、入居者様との会話を大切に、入居者様の思いを汲取り、自己決定ができるように支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の介護度・レベルに合わせ個別レクレーション・個別支援を行い、また職員の勤務も余裕のあるシフトにして、入居者様主体の生活ができるようにしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に、季節に合った洋服を用意していただき、好みの洋服を着ていただいています。2か月に一度訪問美容師に髪をカットしていただいたり、希望に応じて、カラーリングもできるようにしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	調理済の食材を利用しているため、季節に応じて、カレーパーティーを行ったり、おやつに、手作りのケーキ・ゼンざい・ゼリー等作り、目でも楽しんでいただけるよう形・色合いなども工夫して提供をしています。食器拭き・お盆拭きなども職員と談笑しながらしていただいています。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士が立てた献立を提供しています。食事量は、入居者様に適した量を提供し、水分摂取量は、記録により管理を行い確保しています。入居者様の好みの水分(お茶・紅茶・コーヒー・グリーンティー・ポカリスエット)などを用意して飽きないように摂取していただく工夫をしています。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	日常は、食事の度に口腔ケアをお一人お一人行い、必要に応じては介助も行っています。また、歯科受診の必要な入居者様は、歯科医に往診に来ていただき、診ていただき、適切な口腔ケアの指導を職員が受け支援を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表を活用して、個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っています。日中は、リハビリパンツ・パット等を活用していますが、夜間帯はポータブルトイレも使用しています。歩行可能な方の下肢筋力の低下を防ぐため、体操の中に足ふみなど取入れたり、回廊型の廊下を利用して生活リハビリも行っています。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便チェック表を活用して個々の排便の周期を確認を行い、水分を摂取していただき自然に排便を促せるようになっています。薬などの必要な時には、医師・看護師に支持を仰いでいます。体操を日課の一つにして、身体を動かして予防にも努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	清潔保持のため、週に2回～3回入浴できるように支援しています。体調不良の方は看護師の支持もと清拭を行っています。手浴・足浴なども実施もしています。ゆず湯なども楽しんでいただき、入浴が楽しみにできるような工夫もしています。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。	基本就寝時間は決めていなく、眠 い方から就寝介助をしています。夕 食後は、野球観戦・ドラマ・歌番 組・バラエティー番組等その時々 に合わせて楽しんでいただきます。 昼間は、体調に合わせて休んで いただいたり、休みたい希望があ れば、夜間の睡眠に支障のない程 度の昼寝をしていただいています。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について 理解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている。	服薬管理表を用いて、服薬漏れが ないようにしています。また、誤 薬が無いよう、服薬を行うスタッ フ、それを確認するスタッフと声 に出し合い二重確認をしています。 入居者様の前にて、声を出し、 日にち・名前・何食後などと確 認をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している。	家族様に協力していただき、嗜 好品を持参していただき提供して います。近所にコーヒーなどを飲 みに行くなどの外出支援をはじめ 、買い物にも同行していただい たりしています。また近所の郵便 局などにも同行をしていただき ながら、散歩も楽しんでいただ ける機会も作っています。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望によ り、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の 希望を把握し、家族や地域の人 々と協力しながら出かけられる ように支援している。	家族様との外出(買い物・食 事)外泊もしていただいています。 地域の亥の子祭り・夏祭りなど にも参加していただき、お正月 には地域の神社に参拝に行くな どの外出支援をしています。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。	認知症の入居者様ですので、 個人で持たれることで、紛失な どの事故を防ぐため、家族様と 相談をして、紛失しても差し支 えのない金額を持っていただき 、日用品・外出支援に必要なお 金は、事務所で最低限の金額を 預かり、個々に必要なもの、 外出支援の時に利用者様にお 渡しして買い物を楽しんでいま す。その収支は、毎月家族様に 報告させていただきます。		

自己評価	外部評価	項目( 3階 )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話・手紙は入居者・家族様の意向を大切にしています。選挙なども本人の意志を尊重して意向を聞いています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の飾り物や入居者様の写真を掲示したりして、入居者さまが、楽しく生活できるように工夫しています。七夕などには、笹飾りををしたり、季節ごとに飾りを変えています。湿度・温度の管理も入居者様に合わせて行っています。夏は、エアコンだけに頼らず、扇風機なども利用しています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テーブルの席位置には、気の合う人が座り、談笑ができるように配慮しています。また、ソファなども利用して、日中思い思いの場所で過ごせるよう工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	仏壇なども、居室に持ってきていただいたり、家族様の写真や、入居前のなじみのものお気に入りの品々を居室において安心して、落ち着かれ居心地の良いスペースを作っています。居室前には表札ではなく、フルーツや花の名前のプレーとをかけわかりやすく識別する工夫をしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	ユニット内にトイレ・洗面所・お風呂があり、わかりやすく、移動しやすい動線になっており、台所もユニット内にあり、食事を作る音や、においを感じられるようになっています。		

V アウトカム項目( 3階 ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームでしお

作成日 令和1年9月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の議事録を欠席の家族等に、議事録及び業務改善委員会の活動状況の報告がされていない。	入居者様を家族様と共に支援を行う事を目標にする。	運営推進会議の議事録や業務改善委員会の議事録を欠席の家族様に送付をして情報の共有を行う。	3か月以内
2	3	運営推進会議の議事録が読み手にわかりにくい記載になっている。	運営推進会議・業務改善委員会の情報をわかりやすく提供をする。	家族様・職員・行政どなたが読まれてもわかりやすく記載する。	3か月以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。